

# 歯周病を考える



8020 を目指している現在、むし歯だけが歯の病気ではありません。それよりもはるかに恐ろしいのが「**歯周病**」！ 歯が抜けるだけにとどまらず、その猛威は全身をも侵すことになります。歯周病を良く知ることにより予防に心がけましょう。

## ✦ 「8020運動」とは？

日本歯科医師会は80歳になっても「健康な自分の歯を20本以上保とう」という [8020運動] を最も重要な課題としてとらえられています。

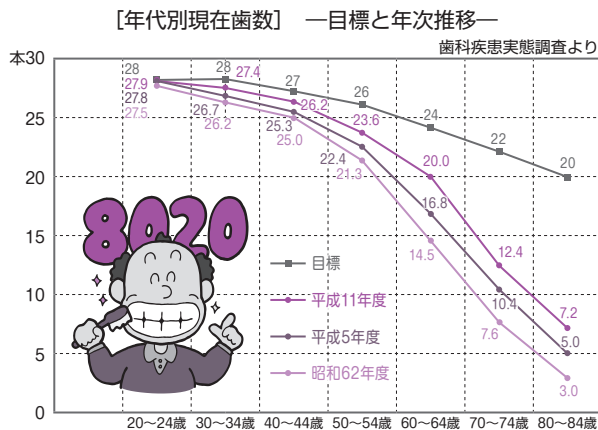
では、なぜ健康な20本の歯が必要なのでしょう？

- ① よく噛むことで消化吸収がよくなり食べ物のおいしさも味わえます。
- ② 噛むことによって脳へ適切な刺激が伝わります。
- ③ 正しい発音ができ、見た目にも清潔な感じがします。

このように [8020運動] の実現は高齢になってからの質の高い生活 **[Quality of Life]** につながっているのです。

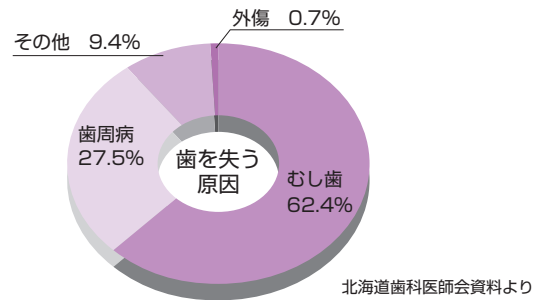
この運動が開始される前の昭和 62 年に行なわれた歯科疾患実態調査では、80 歳以上の人で一人平均現在歯数（入れ歯ではない現在持っている自分の歯）は 3.0 本となっていました。平成 11 年の同調査では 7.2 本となり、残っている歯の数は過去の調査に比較して増えてきています。

さらに、平成 12 年から開始された 21 世紀における国民健康づくり運動「健康日本 21」においては、歯の健康に対する目標設定がなされており、2010 年までに 80 歳で 20 本以上の歯を持つ人の割合を 20%以上とすることが掲げられています。



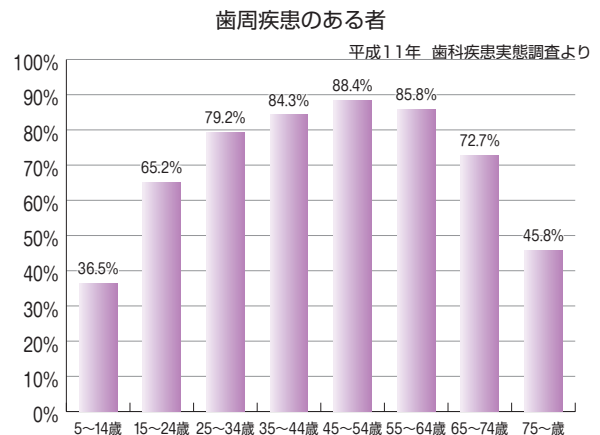
## ✦ 歯を失う原因には…

現在、歯科治療は「出来るだけ歯は抜かない」診療に変わってきました。しかし、ひどいむし歯や歯周病、もしくは外傷で折れてしまった場合は歯の根まで抜かなければならない（または抜ける）こともあります。歯を長くもたせるにはむし歯と歯周病の早期発見・早期治療が大切になってきます。



## ✦ 歯周病のある人の割合（年代別）

歯周病は歯肉炎と歯周炎（いわゆる歯槽膿漏）に分けられますが、歯肉に何らかの所見がある人は15歳～24歳で65%もいます。また、45歳～54歳で最も多く88%に達し、60歳代頃から歯周病にかかっている人が減っていますが、これは歯の無くなった人が増えるためです。



資料提供

(社)奈良県歯科医師会  
産業歯科委員会

〒630-8002 奈良市二条町2丁目9番2号  
TEL 0742-33-0861 <http://www.nashikai.or.jp/>